

明日を拓く



「理解してもらえてうれしい。」

地元飯南町にアトリエを構え、創作活動に没頭するかたわら、頓原中学校でスクールサポーターとして働く、青木繁のようなたッチで人間の内面をキャンパスに描く個性派。

地元へアトリエを構えたわけは

八嶋 画風がどちらかというのと重いほうなので、家族とのふれあいの中で温かみのある作品の制作をしてみたいと思います。

ました。

家族は私にとってすごく大切で大きな存在なので、実家で生活することで今までの自分から、もう一歩前に進めるのではないかと思っています。

絵のほかに

今打ち込んでることは

八嶋 自分のいる空間を自分にとって居心地のいい空間にしたいと思って、今住んでいる空間やアトリエをデザインしています。

このことでモチベーションが高まり創作意欲が湧いてきます。

これからの目標は

八嶋 もともと絵が大好きで、自分を知るとか好きになるために絵を描き続けたいと思っています。

雰囲気のある人間になりたいと考えていたり、自分に自信のある人は何かきらきらしたものを持つていると思います。そういうきらきらしているものを身に着けるために、今は絵を描いています。

現在は、スクールサポーターの

仕事をさせていたただいていますが、子供たちとのふれあいの中で、こういう仕事が私に合っていることを気づかせてもらって感謝しています。

また、このアトリエは40畳くらいありますが、ほんとうに安く貸してもらえて、私の活動を理解してもらっていることに、とても感謝をしています。



「温かみのある作品を制作したい。」

プロフィール
1985年 飯南町上赤名に生まれる。
2004年 飯南高校卒業、
2008年 京都嵯峨美術大学油絵専攻卒業、
2013年 広島市立大学大学院芸術学研究科卒業、
現在、飯南町野萱で制作活動に没頭中。

今月の表紙写真



9月初頭の日曜日、頓原中学校と赤来中学校では体育大会が雨天の中で開催され、高原の町飯南町には若人の歓声が響きわたりました。写真の赤来中学校は全学年で80人の生徒、男子生徒による元気な騎馬戦も全学年で取り組みます。追う者、追われる者も一生懸命なのに、どうにも楽しそうに駆け回っていたのが印象的でした。子どもは地域の宝だといいますが、宝を家庭や地域・学校で磨いてあげて輝かせるのも大切なことです。

編集後記

選挙が行われ、議会広報委員会も新たな委員構成でスタートしました。

目標は今ままでどおりわかりやすい紙面、臨場感のある内容で、読者が読みたくなる議会広報誌を目指します。

本定例会は3人が一般質問に登壇し、産業振興、地域振興に関し町長に質しました。

特に、木質バイオマスは本町の今後に多大な影響を与えると考えられ、2人が質問しましたが、町民の利益につながる事業実施に向け、議員も研鑽を深めるため研修を行います。

さらに開かれた議会を達成するため、独自ホームページ開設の検討をはじめ、始める時期が来ています。読者の皆さんのご意見をお寄せください。

議会広報編集委員会 門 眞一郎